

令和5年度「市長と語ろう！！住民懇談会」会議要旨

日 時	10月17日(火) 午後7時～
会 場	メディア交流館
地 区	万田地区・万田中央地区
参加人数	85名
意見交換	
(1)市長からの話	
意見、質問等	市からの回答 / 今後の対応
小学生への視力向上 オンデーズによる小学生へのメガネ無償提供があるが、他に目を悪くしない取り組みは行わないのか。 学校でのタブレット活用 タブレットを学習だけに使用する可能性は低いと考えるが子どもたちにはどのように使わせているのか。 青少年国際交流事業 シンガポールの中学生訪問は、英語教育だけが目的ならば必要ないのではないか。	○シンガポール訪問は、将来を担う子供たちの一つのきっかけづくりと考えている。その後、国際的な感覚を養ってもらうことを期待している。
潮湯の整備 南新地(競馬場跡地)に潮湯を建設しないのか。なぜ新しい潮湯を作らないのか。	○潮湯は高齢者の健康づくりや交流の場となる良い施設。老朽化は進んでいるが、利用者の方々の潮湯を残したいという思いに答えて、多少修繕費がかかっても今の潮湯を使い続ける方針。南新地の温浴施設は民間が整備する予定。
生活支援の要望 物価高で生活が苦しい。国に働き掛けて補助金を出してほしい。	○ガス代の負担軽減や荒尾商工会議所によるプレミアム商品券を予定しており、負担軽減に努めたい。
保健福祉子育て支援施設の整備(身体障がい者の施設利用) 保健福祉子育て支援施設は、重度の身体障害をもった子ども達のことを考えて整備されるのか。	○重要なテーマであり、しっかり検討していきたい。
(2)地域の課題 (各地区協議会から)	
意見、課題等	市からの回答 / 今後の対応
【万田地区協議会】 荒尾駅舎及び駅前付近の再開発 荒尾駅と南新地(競馬場跡地)とのアクセスはどうなるのか。	○荒尾駅から南新地(競馬場跡地)への歩道は、店が立ち並ぶような空間を作ればと思うが、これから検討したい。
【万田中央地区協議会】 防災行政無線について 防災行政無線は市内で24か所あるが万田中央地区にはない。区の連絡網や区未加入者は個別に訪問している。防災行政無線を増やしてほしい。	○近くでは万田小と万田炭鉱館にスピーカーを設置している。聞こえづらい場合は個別受信機もあるので防災安全課にご相談いただきたい。可能であれば、防災アプリやLINEの活用もあるので検討いただきたい。また、万田中央地区で多目的に地域情報の発信も考えている場合は、コミュニティ助成事業での整備も可能。くらしいきいき課に相談いただきたい。
(3)その他	
意見、課題等	市からの回答 / 今後の対応
高齢化による土地や樹木管理 住民の高齢化により地域で管理できない土地が出ている。管理できないところは市で管理してもらいたい。地区の共有地についても引き取ってもらいたい。	○万田東児童公園は万田地区の所有、いわゆる「民有地」であるため、地域での管理をお願いしたい。
海陽タウンの防犯灯整備 海陽町は戸建てが立ち始めているが、街灯が無く真っ暗である。	○街灯についてはこれから検討を進めたい。 【対応】街灯はR5.12月に設置済。
災害時の大牟田市との連携 数年前の寒波で水道管が凍結し、大牟田市には自衛隊が給水に来たことがあるが、災害時には荒尾市と大牟田市は連携しているのか。	○大牟田市とは災害時にはお互いに連携する関係である。
万田田添線整備 万田田添線の工事について立退き工事等の期間について教えてほしい。	○現在立ち退き交渉が継続しており、移転が決まらなければ具体的な時期は見通せない。 【対応】R6.3現在、用地交渉は継続中。